



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間共1100円

道標



18日からタイで第一回アジア宣教会議

郡山司教と岩崎氏(谷山)が出席

第一回アジア宣教会議

がタイのチェンマイで十月十八日から二十一日まで、五日間の日程で開かれる。

日本からは長崎教会管区を代表して郡山健次郎司教と岩崎正幸氏(谷山教会)が出席する。

この会議はアジア司教連盟(FABC)が母体となり、八年前から検討され準備が進められて、今年それが実現することになった

もの。

アジア各国から千人規模の参加者を集めて開催されるこの会議はアジアでは初めてであり、歴史的にも画期的な催しとなる。

聖フランシスコ・ザビエル誕生五百年の記念と「世界宣教の日」を最終日に定めたことでより意義深い会議になりそう。

郡山司教はこの歴史的な会議に出席するに当た

り、鹿兒島教区の信者にもこのことを知らせ、その成功のために祈るようとの意向を表明した。

この会議のテーマは「アジアにおけるイエスの物語―信仰と生活の祝い―」で、一日ごとに「アジアの人々の中のイエスの物語」(十九日)、「アジアの諸宗教の中のイエスの物語」(二十日)、「アジアの文化におけるイエスの物

語」(二十一日)、そして最終日は「アジアにおける教会の中でのイエスの物語」となっておりそれぞれの絞った幅広い観点から講話と分かち合いがなされる。

郡山司教はアジア宣教会議の実行委員会が準備した「アジア宣教の祈り」を唱え、霊的にこの会議に参加するよう呼びかけている。

コンベンツスで検討

聖ヨアキム・アンナ高齢者の会

高齢者が定期的に集まって祈り、信仰を強めて社会貢献することを目指す。

教皇庁教理省認可使徒職団体「聖ヨアキム・アンナ高齢者の会」の紹介が九月十

見することができよう。

復活された主の霊よ、異なる信仰や文化的伝統のもとにある多くの兄弟、姉妹と出会うために、私たちの歩みを促してください。

生命と信仰についての対話を通して、私たちの間にある多くの争いや憎しみを、心から癒したいと願うことによって、私たちが出会えますように。

アジアの教会の母であるマリア、新しい福音宣教の星であるマリヤ、神の望みとすべて人の救いのために生涯をささげたあなたのように、あなたの子であるイエスを愛することができるようお導きください。アーメン

「アジア宣教の祈り」

父よ、あなたは全ての人の救いをお望みになり、あなたの真理を知ることができるよう、愛するひとり子イエスをお遣わしになりました。

あなたと人々が互いに出会う道をお示しになり、イエスの豊かな命を生きたことができるようになってくださいました。

そして、平和と正義に満ちたあなたの世界を築き、人々が連帯するように招いておられます。父よ、イエスを救い主として、また、兄弟として、私たちに与えくださったあなたをほめたたえ、感謝します。

また、あなたは私たちを信仰、希望、愛に生きようとしてく

でお生まれになりました。しかし、あなたの弟子であるわたしたちは、この広大な大陸にあって、いまだに「小さな群れ」でしかありません。

知られる私たちが強めてください。この大陸の自然の美しさ、文化や宗教的伝統の豊かさ、さらに、何よりも、聖なるものを心から望み、慕うアジアの人々に、様々な姿で現存するイエスを発

＝人＝
笑顔のマジシャン
杉山豊彦さん



今までにこんな笑顔の持ち主に出会ったことはない。そう思わせてくれたのは杉山豊彦さん、加世田教会所属の名物じいちゃんだ。

趣味は「マジック」というじいちゃん、教会の催しともなると七つ道具を携えて張り切ってやってくる。八月にあった枕崎教会での堅信と初聖体後の祝賀会でもそのなんとも表現しがたいお手並みは披露された。

よくテレビに手品の種をばらして笑いをとる芸人さんがいるが、じいちゃんの場合はそれとはちよいと趣を異にする。おぼつかない手から繰り出されるマジックは、道理の分かる大人たちの引きつった笑いと遠慮知らずの子どもの冷やかしの生み出す。でも豊彦じいちゃん、そんなことは知ったことではない。満面の笑顔で、次々にその微笑みの出所は謎として残したまま次々に自慢の手品を繰り出す。

「掌」という

歌が好きだ。さだまさしの歌だったと思うが、ある年齢に達した人が、掌の皺が、手相か、それを見つめながら自分の人生を振り返るといふ歌詞が心を揺さぶる。

「ついでに」「ついでにない」と出来事を数え、その悲しみの数の多さに驚き、その時の勇気のなさを嘆く人の姿が表現されている。▼先日、テレビで百二歳になったおばあちゃんにスポットを当てた番組が流された。富山県射水市に住むキエさんは、プロテスタント系の信者。日課は帳面にその日の天気、出来事、朗読した聖書の箇所を記すこと。そしてその日に生まれた教会の仲間の名前を書き込んでいくこと。「書くことはその人を思うこと、祈ること」とキエさんは語っている。そして教会でその人の元氣な姿を見て安心し神に感謝をささげるといふのだ。▼ならば「己は？」と問うてみる。長いと言っても構わない程の信者としての身分の中で、あのキエばあちゃんほど人を思い、祈ったことがあったのだろうか。▼番組の終わりのばあちゃん「私は塵だけれど、罪人だけれど、されど伝えよう」としわがれた声で聖歌を歌っていた。それを見たこの人はどんな気持ちで自分の掌を見つめるのだろうか。うと思われ、人生の終わりの日に己の掌を見つめながら、それでも「よし」と言える生き方がしたいと思わされた。

- 九日(火)に教区本部で開催されたコンベンツスあり、集まった司祭たちで鹿兒島教区での活動の可能性について検討した。同会の目的は次の通り。
- ① 高齢者・熟年者は時間的・生活的余裕を自らの救済について真剣に考えるために使う「霊的成熟期」であることに目覚める。
 - ② 完熟を目指す高齢期のキリスト信者は、神の栄光のため、自分と隣人の霊魂のために祈り、互いに愛の業に励みながら、完徳に達することができるよう助け合う。
 - ③ 会員となった高齢者・熟年夫婦は、若い世代の模範となるよう心がける。特に健全な道徳観を堅持し、自分の生活や、仕事を通してよき模範を示し、キリストに従う先輩として、殉
 - ④ 会員は生活浄化、祈り、黙想、相互扶助に励むために集いを重ねる中で修徳と兄弟的一致を實踐する。
 - ⑤ 定期的な会合を持つ。
 - ⑥ 教会一致に奉仕し、司教・司祭の指導に従う。
 - ⑦ 会を維持するために応分の経済的負担をする。
 - ⑧ ミサ聖祭に毎週必ず、聖体拝領をする。
 - ⑨ 毎月、集会時にミサ聖祭にあずかり、その後、会の精神と当面のプログラムの実行を分かち合う。
 - ⑩ 毎日、「教会の祈り」「口ザリオの祈り」を唱え、教皇庁・教区・小教区発行の公文書に親しむ。
 - ⑪ 一年に二回、短期の黙想会に参加する。



英語力もあまりないまま、香港に着いたその日にいきなりホームステイでした。不安だったので、とても親切にしてくださいました。ステイ先のチュウさんの息子は二人とも留学していて、今はご夫婦二人だけで暮らしていて、私が来たことを喜んでくれました。

香港には一度行ったことがあるのですが、その時には体験できなかった地元の人の生活や近隣の触れ合いを見ることもできませんでした。「また来たときには、いつでも泊まりに来ていいからね」と言うお母さんのチュウさんの言葉がとてもうれしかったです。もっと言葉勉強して、いつかお会いしたいものです。

8月5日香港で開催された

アジアニュースデーに参加して

教区大神学生 貴島 丈弥

一人のグレゴリーとは煙草の分かち合いをしました。私は「煙草はいつかやめなくては」と思っています。が、こういう出会いも大切にしてほしいと思いました。

(名瀬聖心教会)

います。みんなの笑顔がそれを表していた気がします。未熟な英語でも話しかけるとみんな笑顔で答えてくれました。アジアの青年や日本で頑張っている青年たちとたくさん出会えたことをとても嬉しく思います。

は、生活は苦しいけど、家族が三代代、あるいはそれ以上にわたって一緒に生活しているというところです。しかし経済が成長するに連れて個人を大切にするようになり、自殺や、今の日本のような家庭内での殺人も増えている。豊かさの本当の意味や貧困についても考えさせられました。そしてあのチュウさん夫妻の温かさを思い出ししました。

薩摩の殉教者

レオ税所七右衛門⑤

殉教

レオに棄教の気持ちがまったくなかったことを知った領主北郷加賀守は、死刑の宣告を下した。処刑のためにレオを迎えに行った兵士達は切腹を勧めるが、レオは自らの命を絶つことは禁じられているとこれを断る。そして処刑される場所に家の近くの十字路を選択した。これは人目につくところで信仰告白を表したかったのと、聖なる十字架を思っただけであった。その前夜、自らの手で棺を用意したレオは、家を出る前に身を清め、十字架から下ろされたイエズスのご絵の前で祈りをささげ、その後、白装束をまとったという。その後、妻に、子どもに、同僚にまさしく最後の命を懸けた宣教の言葉を残した。

「ペトロ岐部と一八七殉教者」の

薩摩の殉教者レオ税所七右衛門も含まれる

毎年十一月の「川内殉教祭」(鹿児島教区主催)で記念されているレオ税所

七右衛門(二六〇八年十一月十七日、川内の平佐で殉教)が福者に列福されることになった。

これは、彼が「ペトロ岐部と一八七殉教者」の一人に加えられているためで、列聖省枢機卿委員会による審議と教皇ベネディクト十六世の裁可が下れば、

早ければ来年にも日本で列福式が執り行われる見込みだ。日本カトリック司教協議会はこれを受け、「殉教者列福準備特別委員会」を設け列福式への準備を始め、すでに各教区にはボスターなどの関係資料が配送されている。現代における殉教(信仰の証)の意味を深めながら献金に協力していきたいものである。

日本カトリック司教協議会はこれを受け、「殉教者列福準備特別委員会」を設け列福式への準備を始め、すでに各教区にはボスターなどの関係資料が配送されている。現代における殉教(信仰の証)の意味を深めながら献金に協力していきたいものである。

新講座開講「生きること・死ぬこと」

カトリック通信講座

健康で幸せに生き、与えられたいのちを旅立ちの日まで豊かに生きるために新講座「生きること・死ぬこと」を開講致します。医療、教育、法律分野の第一線で活躍する方々と協力し、今をどう生きるかという視点をさまざまな角度から提供していきます。いのちを大切に、より充実した生を送るために、すべての方にお勧めする講座です。

受講料：5,000円(郵便振替用紙に講座名をご記入の上、お振込み下さい。振替口座番号：00170-2-84745 加入者名：オリエンズ宗教研究所)

お問合せ：オリエンズ宗教研究所「カトリック通信講座」
〒156-0043 世田谷区松原2-28-5 tel 03 (3322) 7601
e-mail: jimu@oriens.or.jp URL: http://www.oriens.or.jp

「円ブリオ基金」というNPO法人をご存知ですか？

種々の事情で闇に葬られる胎児、その数は1年間に届出数だけでも31万人。そのうち10代の中絶件数は約4万件。実数はその倍とも言われます。そんな胎児を救うと設立されたのがこの法人です。現在の理事長は故遠藤周作氏の夫人、遠藤順子さんです。運動の主眼は「一人が1億円を寄付するより、1億人が1円を寄付すること」です。エンブリオは英語で受精後8週未満の胎児を指します。それに日本円の1円を掛け合わせたもので、しゃれた命名だと思います。1億人の人が胎児を人間として認めることが肝心です。

見えない胎児を自分たちの都合で闇に葬る風潮が、目の前にいる子供を殺害しようとする行動に駆り立てているように思えて仕方がありません。1億人の人が胎児を大切に思う心があれば、きっと家族間殺人は減少すると思います。この趣旨に賛同なさる方は、下記の口座へご送金ください。(N・H)

「円ブリオ基金」 郵便振替 00150-9-415477

+KABAYAN SEKSIYON+

"Ang mga Hakbang ng Pagpapahayag"

Noong nakaraan buwan, pinagnilay-nilayan natin ang tungkol sa pagpapahayag ng Diyos. Ngayon ipagpapatuloy natin, ang mga hakbang ng pagpapahayag. Sa simula pa lang ipinakilala na ng Diyos ang kanyang Sarili. "Ang Diyos na lumikha at nagpapahalaga sa lahat ng bagay ng kanyang Salita, ay pinaglaanan ang tao ng sunod-sunod na katibayan ng kanyang sarili sa katunayan ng mga nilalang. At saka, ninanais na mabuksan ang landas ng patung-ong langit ng kaligtasan, at sa simula pa lang nagpakilala na siya sa ating mga unang mga magulang."

Inaanyahan sila sa matalik na pagkakaisa sa kanyang sarili at para mabihisan ng kaningningan biya ya at hustisiya.

Ang pagpapahayag na ito ay hindi naputol kahit na nagkasala ang una nating mga magulang. Pagkatapos na mahulog sa kasalanan, binigyan sila ng Diyos ng pag-asa ng kaligtasan, sa pangako ng pagliligtas; at hindi nagbago ang loob ng Diyos sa sang katauhan. Dahil ninanais niyang ibigay ang buhay na walang hanggan sa lahat ng taong naghahanap ng kaligtasan na may tiyaga sa pag-gawa ng kabutihan. Nasasabi na: "Nang sumuway sa iyo at mawala ang iyong pagkakaibigan, di mo pinabayaan ang kanya ang kamatayan: naawa ka sa lahat ng tao kaya nagpakita ka sa mga naghahanap sa iyo."

Kahit na ang tao ay nagkamali at nagkasala, ipina-habayag muli ng Diyos ang kanyang walang hanggan pagmamahal sa lahat ng tao. Sinaklolohan niya ang mahinang pagkatao ng tao sa bisa ng kanyang pagka-Diyos, ibinigay muli sa tao ang lunas ng kanyang kahinaan, ang kapahamakan ay dinulutan ng kaligtasan sa pamamagitan ni Cristo.

Kaya mga kababayan ko, ang mga hakbang ng pagpapahayag ng Diyos sa ating buhay araw-araw ay huwag nating palampasin, higit sa lahat ay hanapin natin ang landas patungo sa kaharian ng Diyos habang tayo'y nabubuhay pa dito sa mundong ibabaw.

教区初の取り組みへ第一歩

「障害者の自立を考える集い」開催へ

今年七月に開かれたカトリック障害者連絡協議会（カ障連）東京大会をきっかけに、鹿児島教区では障害者の支援に向けての動きを始めようとしており、「障害者の自立を考える集い」開くことにしている。

い郡山司教にこの活動の認可ももらえた。毎月一回ほどの集まりを続けて、教会の活動として動いていける

ように願っている」と語った。障害者福祉活動については二〇〇四年に開かれた教区評議会でも「教会で組織し、かわって欲しい」との意見も出ており、川越さんも「永年願ってきたこと」と、この集いのスタートに意欲を見せている。

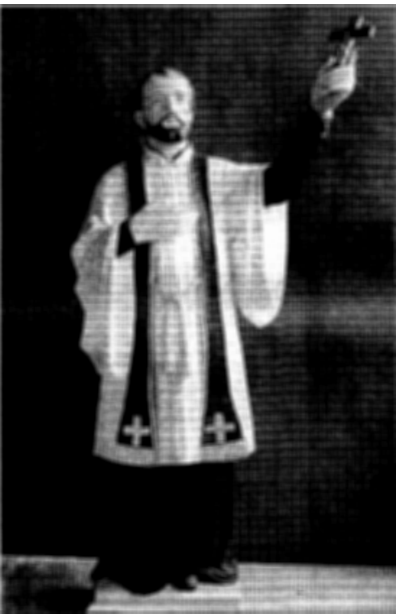
NW会議で全国の青年と交流
九月十六日と十七日、第十一回ネットワークミレーティングが兵庫県宝塚市で開催された。今回の集いには全国十三教区から青年たち約百五十人が参加し「探しにこうや」をテーマにフ



- 10月 今月の暦
- 1日(日) 年間第二十六主日
 - ▼伊集院ザビエル祭・城山公園
 - 4日(水) サンタマリア神父叙階記念日(一九七四年)
 - 5日(木) デクルス神父命日(一九八〇年)
 - ▼牧山田一神父叙階記念日(一九六一年)
 - 8日(日) 年間第二十七主日
 - ▼川内教会聖信式
 - 9日(月) 教区司祭会・教区本部
 - 10日(火) 定例司祭集会・教区本部
 - ▼福岡英雄神父叙階記念日(一九八九年)
 - 12日(木) アッシュヤー神父命日(マックス)
 - 15日(日) 年間第二十八主日
 - 18日(水) 聖ルカ福音記者
 - ▼アジア宣教会・22日まで
 - ▼内野洋平神父命日(ルカ)
 - 22日(日) 年間第二十九主日 世界宣教の日(献金)
 - 「世界宣教の日」について
 - 世界にはまだキリストを知らない人がたくさんいます。日本でもわたしたちはキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となつたわたしたち皆に与えられている使命です。
 - 「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心呼び起こさせること、世界の福音化のために、霊的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的としています。この日の献金は、各国からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られます。日本の教会は、いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。
 - 25日(水) 東研神父叙階記念日(一九六四年)
 - 27日(金) 大松正弘神父命日(ジェラルド)
 - 28日(土) 聖シモン 聖ユダ使徒
 - 29日(日) 年間第三十主日
 - 31日(火) ミタマヤ神父命日(一九八四年)

知名瀬教会にザビエル像

鶴野神父(若松教会)が寄贈



イフワークにしている鶴野泰年神父(若松教会主任)から知名瀬教会にザビエル像が贈られた。これはホルヘ神父(小宿小教会)の願いが郡山司教の仲介で実現したもの。高さ一・五m程の像は、ザビエルを保護の聖人とする知名瀬教会に置かれる。

各地の聖像の型集めをラ

父(レデンプトール会)。頭島神父は「実は、カ障連東京大会への参加準備のためには四月から動き出している。まずは障害者の自立を考える集いにしたい。障害者にとって『自立』とは何かを分かち合い、それぞれの自立への道を考えたい。その上で、キリスト者としてそれぞれの自立を助け合うためのネットワーク作り、仲間作りができればと思う。今まで鹿児島教区では教会としてのそのような動きはなかったが、幸

全国から三百人が集まったカ障連東京大会に、教区からは司教から派遣された四人が参加、全国の障害者やその支援者達と交流をやり情報交換を行った。この大会をきっかけに、鹿児島教区でも障害者の支援への動きが始まりつつある。中心になり集まりを持ち始めたのは大会に参加した川越清治さん(大根占)、久保孝子さん(紫原)、小瀬戸秀子さん(谷山)、寺田守信さん(鹿屋)の信徒四人と、世話役の頭島光神

門田 明氏の

鹿児島とキリスト教⑥

ザビエル、日本について

ヤジロウに学ぶ

先号では、ザビエルがマラッカで鹿児島島のヤジロウに出会ったことに触れた。ザビエルが日本宣教を現実の問題として強く望むようになった一つの理由は、このヤジロウとの出会であった。

ザビエルは書簡で「(ヤジロウ)は私に告解したいと思つてマラッカに来た」と言っている。この言葉は、ザビエルが出会ひのその時から、ヤジロウを誠実な人物だと直感したことを物語っているように思われる。

ザビエルが最初に出会った日本人ヤジロウが、優れた人物であったのは本心に幸せなことであつたと思う。

ヤジロウに出会うことによつて、ザビエルの日本宣教の期待はますます強くなつていく。以下、ザビエルのヤジロウ評を紹介したい。(河野神父の書簡訳により、ヤジロウの呼称は原書のとおり「アンジロウ」とする)。

「もしも日本人すべてがアンジロウのように知識欲が旺盛であるなら、新しく発見された諸地域のなかで、日本人はもっとも知識欲の旺盛な民族であると思います。このアンジロウはキリスト教講義に出席した時に信仰簡条を書きました。また教会へたびたび行つて祈つていまし

た。かれは私にいろいろな質問をしました。彼は知識欲に燃えています。が、それは非常に進歩するしるしであり、また短時日のうちに真理の教えを認めるに至るでしょう」

ザビエルはヤジロウに日本宣教の可能性を尋ねている。これに対してヤジロウは「すぐには信者にならな

いだろう。まず初めにいろいろと質問し、どれほどの知識があるかを観察するだろう。特に生活態度が話していることと一致しているかどうかを見るだろう」と答える。そして「日本人は理性によつてのみ導かれる人びとである」と言い切っている。これを讀むたびに私は「本当にそうかな?」と少し恥ずかし

くなる。(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)



教区から五人が参加九州青年キャンプ

今年で六回目となつた九州青年キャンプは、八月二十六日、二十七日に長崎の植松教会で開かれ、長崎、福岡、宮崎、鹿児島から五十人程の青年が集い、親睦を深めた。

集いでは、殉教者ゆかりの地を巡る徒歩巡礼や分かち合い、祈りやミサ、交流会などが行われた。鹿児島教区からは、小

郷里紀子さん、角田聡さん(以上、ザビエル)、山下直樹さん(紫原)、久保泉さん、久保篤志さん(以上、川内)の五人が参加した。参加者たちは「同じ信仰を持つ人たちが集まるので親近感があつた」「日曜日のミサの参列者の多さに驚いた」「青年会活動について分かち合いや情報交換ができてよかった」「ワールドユースデーをきっかけにして、長崎や他の地域との交流も持てるようになってよかった」などの感想が聞かれ、これからの教会での活動に元気を貰つたようだった。

加世田・枕崎教会献堂50周年のご案内

日時 11月12日(日)

場所 加世田教会

11月12日(日) 午後2時 司式 郡山司教

祝賀会 午後3時

加世田・枕崎教会献堂50周年のご案内

日時 11月12日(日)

場所 加世田教会

11月12日(日) 午後2時 司式 郡山司教

祝賀会 午後3時

昨年八月帰天した聖書学者

小平卓保神父を偲んで

大熊小教区浦上教会 平 三国

小平卓保神父様が亡くなられて、八月七日で早一年となりました。

私と神父様との親交はここ四、五年のことでした。でも約五十年前の神父様の司祭叙品記念(現在では叙階)のご絵(一九五九年)を持っています。一昨年そのコピーをお送りしたら、「私の叙品の記念まで持っておられたんですね。感激しました」と便りをいただきました。

親しくお付き合いしたのは神父様と「長崎信徒発見巡りの旅」を一緒にした時からでした。紫原教会のヨゼフ会が企画されたその巡礼に神父様からのお誘い



外海町の「遠藤周作文学館」で神父様と

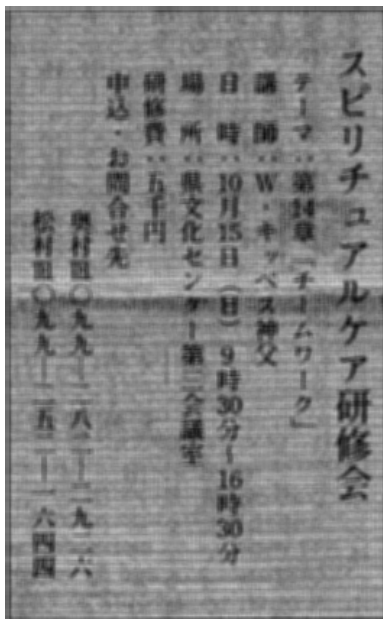
があり、同行したのです。平成十四年四月二十七日から二十九日の二泊三日の巡礼でした。全行程貸切

バスで行きました。主に長崎市内、外海町遠藤周作文学館の巡礼でした。神父様はビデオ

「沈黙」やテープ(聖歌等)を準備されて車中で放映、放送して下さいました。

外海では出津教会や黒崎教会を訪ね、キリシ

タン時代を偲びました。遠藤周作文学館ではカトリック作家としての遠藤周作の多くの資料や特にビデオで



も見た著書「沈黙」について考えさせられました。

その後神父様は体調が優れないようでしたので、奄美の特産のジュース等を送りましたら、著書の「聖書散歩」(聖母文庫)をいただきました。

「永遠のベストセラー『聖書』には汲めども尽きない教えがある。しかし案内書がなければよく分からないのも聖書だ。本書が聖書の面白さを教えてくれる」

また「世界的な名著『聖書思想事典』の訳者ならではの、深く広い聖書の解説、聖書の研究に、黙想に最適、そして聖書以外の色んな分野にもアンテナを張り巡らして哲学、神学、歴史、社会、政治、文学、芸術など、そして何よりも人間とその生活についての幅広い知識をストックした稀に見る教養人でもありません」とも神父様は評されています。

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

鹿児島 徳永ノブ子

めぐりくる齢の重き敬老日

(評)「齢の重き」は作者の発見

純心学園 川上 和

沈みゆくアダンの海の帰り舟

出水 遠竹睦郎

鰯雲浮かびて秋の天高し

純心中学 浜田香奈

おいしいとスイカ食べすぎトイレ行く

阿久根 中津濱フサエ

引潮やはしゃぐ子らをおどらせる

純心学園 山頭信子

原爆忌あの日に染まる長崎や

(評)「あの日に染まる」がよい。

鹿児島 春山マリ子

コスモスの揺れる窓辺や母の部屋

奄美 松畑義弘

木枯や草木も土も乾きたり

鹿児島 本城 愛

女王蜂尊ぶ群の雀蜂

実り田に爪あと残す秋の台風

鹿児島 龍門司真人

絵手紙やカヤツリグサの花ゆるる

短歌 (思川短歌会作品)

明光学園 森 博伸

夕顔のほのかな香り夕暮れに咲くこの花を妻といとむ

(評) 結句が作者を表白してよい。

阿久根 中津濱フサエ

潮風を受けてほほばるにぎりめし神の恵みの沁みとおる味

阿久根 眞清水 藍

たまわりし長き齢を主の愛に答えいつに永遠の命え

純心学園 川上 和

原爆の炎となりし白百合の短き命平和の鐘に

奄美 林 明子

不器用なあなたが好きでもどかしいつつんであげる毛布のように

ゆめばかりたべてしまったここはどここへ行くこの列車つて

(評) 多作のどの作品も深い祈りを伴うので捨て難い。特に列車の一首は。

鹿児島 春山マリ子

いいことがあればいいな折角の残り少ない悲しい中に

出水 遠竹睦郎

月愛づる人らあまた集ひ来て古き都に琴の音澄めり

鹿児島 前田儀子

みついろの空やはらかに昏れゆきて樹樹は濃き影地表に落す

鹿児島 田平新太郎

会食にいでゆく妻の装いを良しと言ふべし後姿を

鹿児島 田平新太郎

会食にいでゆく妻の装いを良しと言ふべし後姿を

鹿児島 田平新太郎

会食にいでゆく妻の装いを良しと言ふべし後姿を

鹿児島 田平新太郎

会食にいでゆく妻の装いを良しと言ふべし後姿を

会食にいでゆく妻の装いを良しと言ふべし後姿を

催しのご案内

一日のマリアポリin鹿児島

テーマ:「一致を目指して」(現代社会への一つの提案。それは一致と普遍的兄弟愛)

日時:10月15日(日)10時~16時(受付9時30分)15時からミサ(司式郡山健次郎司教)

場所:鹿児島教区本部棟

※ご家族、お友だちもお誘いになって、どうぞご参加下さい。心からお待ちしています。当時は子どものプログラムもあります。昼食はお持ちになるか、もしくはお早めにご注文下さい。

問合せ先

鹿児島市魚見町119-7

直 泰江 tel099 (267) 1421

長崎フォコラーレ・センター

tel095 (848) 7281 fax095 (849) 3812

eメール naga.aff@seagreen.ocn.ne.jp

臨床パストラルケア第9回全国大会

日時:11月11日(土)12時45分~12日(日)15時30分

場所:福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル

テーマ:個人の内面的パワー

内容:基調講演 島蘭進(東京大学教授) 講演 小田博志(北海道大学助教授) 鈴木育三(社会福祉法人「新生会」理事) 萩原 優(聖マリアンナ医科大学客員教授) W・キッペス(臨床パストラルケア教育研修センター所長)

参加費:2日間1万円(会員9千円)

問合せ先:第9回全国大会実行委員会

事務局長 井口憲一郎

tel0942-32-4873 fax0942-32-3586

参加受付:(株)オフィステイクワン

第9回デスク 担当/武田高典

tel052-930-6145 fax052-930-6146



ザビエルさまの軌跡

きっかけ

以前、このコラムにも出ましたが、ザビエル様の通った道(路)を世界遺産にしようという動きがあるそうです。スペインの観光協会やその他さまざまな方面から準備を進めているとか。ザビエル様のことを思い起こし大切にしようという気持ちには大賛成です。

八月の上陸記念祭で郡山司教は、「ザビエル教会の前の通りを『ザビエル通り』にしたい」という熱い思いを語りました。もしそうしたら、ザビエル様の存在が鹿児島市民にもっと身近になるような気がします。

青年たちは今月(十月)一日、ザビエル様が通ったであろう道を伊集院まで歩き、ザビエル様の苦勞の一端を感じながら司教と共にミサをささげます。(今頃歩いているころかな?)もし、世界遺産の件が実現したら、司教の言う「ザビエル通り」も青年が歩く伊集院までの道も世界遺産になるかな?

毎日の生活の中でなかなか祈る時間をもてない私、ザビエル様のこともそう思い出すこともない。通りの名前でも、世界遺産でも、歩いた思い出や日焼けの跡でも、何でもいからザビエル様が伝えてくださった神様のことを、思い起こし祈るきっかけになる何かが増えるといいですね。

「ザビエル通り」に面した教区本部のグリーンスペースも、整備すれば、よい「きっかけ」の一つになるでしょう。信徒の力を合わせて何かできないものでしょうか?